

国際経営論 Global Business

2単位 (選択)
片山 善行・非常勤講師

【授業目的】 グローバル化・情報化の大波の中で、グローバル経営を展開する企業が直面する諸問題・課題を最新の事例を基に検討し、その指針・解決策を探る。

【授業概要】 近年特に、M&A(企業の合併・買収)は経営戦略における有効な選択肢の一つとして、日本でも確実に定着してきている。そこで本講では、M&Aの戦略的意義・スキーム(構造)・税務的側面・ビジネスインフラ(関連諸法制)の改善等を中心テーマとして、株式価値の創造という視点から検討する。

【授業計画】

1. 変貌する M&A と新たな展開
2. 経営戦略としての M&A(I)
3. 経営戦略としての M&A(II)
4. M&A ブームの背景にあるもの-株式価値の創造
5. M&A の戦略構造と株式交換(移転)制度
6. M&A 関連法制の改善点
7. M&A の手順と進め方
8. M&A と税務戦略
9. M&A と税務戦略のシミュレーション
10. ポスト M&A のリストラと税戦略
11. 移転価格と税戦略
12. 敵対的 M&A と防衛策
13. M&A と株主価値の創造
14. 外国人のものの考え方、外国人とのつき合い方
15. 質疑応答
16. 期末試験

【成績評価基準】 受講姿勢・期末試験の結果を総合的に評価する。

【教科書】 プリントと資料を配付する。

【参考書】

- ◇ 片山善行「海外事業展開における税務戦略」中央経済社
- ◇ 服部暁達「M&A 成長の戦略」東洋経済新報社他

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215894>

【対象学生】 開講コース学生のみ履修可能

【備考】

- ◇ 出席を重視するので、必ず出席のこと。

◇ 授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。